

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202305810030C6	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(水産) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高谷 智裕 / Takatani Tomohiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高谷 智裕 / Takatani Tomohiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高谷 智裕 / Takatani Tomohiro		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	taka▲nagasaki-u.ac.jp (▲を@に変更)		
担当教員研究室/Office	水産食品衛生学研究室(水産学部新館1階)		
担当教員TEL/Tel	2846		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A, F, G, I, J)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	授業は、原則対面で実施します。最初の授業で授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ（教務委員長）
第5回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用（教務委員長）
第6回	クラス別課題学習
第7回	1～6班図書館資料収集ガイダンス（7～12班は第8回目に実施する）7～12班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第8回	7～12班図書館資料収集ガイダンス（1～6班は第7回目に実施する）1～6班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第10回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第11回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第12回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第13回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第14回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第15回	クラス別課題学習（最終発表会 反省と総括等を含む）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202305810030C7	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（水産） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	王 曜 / Wang Yao		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	王 曜 / Wang Yao		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	王 曜 / Wang Yao		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wangy▲nagasaki-u.ac.jp（▲を@に変更）		
担当教員研究室/Office	食品栄養学研究室（水産学部新々館3階）		
担当教員TEL/Tel	095-819-2837		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。（目標A, F, G, I, J）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方（15%）やディスカッションへの積極的参加（15%）、プレゼンテーション（40%）、レポート（30%）により総合評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。（2h） 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。（2h）		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	授業は対面で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ（教務委員長）
第5回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用（教務委員長）
第6回	図書館を利用したアクティブラーニング
第7回	2班：図書館資料収集ガイダンス
第8回	図書館を利用したアクティブラーニング
第9回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第10回	図書館を利用したアクティブラーニング
第11回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第12回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第13回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第14回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第15回	クラス別課題学習（最終発表会 反省と総括等を含む）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202305810030C8	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(水産) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石橋 郁人 / Ishibashi Fumito		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	石橋 郁人 / Ishibashi Fumito		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	石橋 郁人 / Ishibashi Fumito		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	fumito▲nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	生理活性物質化学研究室(水産学部新々館1階)		
担当教員TEL / Tel	2833		
担当教員オフィスアワー / Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標 / Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A, F, G, I, J)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード / Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面方式が基本だが、新型コロナウイルス感染拡大状況によってはオンラインで実施することもある。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ（教務委員長）
第5回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用（教務委員長）
第6回	クラス別課題学習
第7回	1～6班図書館資料収集ガイダンス（7～12班は第8回目に実施する）7～12班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第8回	7～12班図書館資料収集ガイダンス（1～6班は第7回目に実施する）1～6班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第10回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第11回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第12回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第13回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第14回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第15回	クラス別課題学習（最終発表会 反省と総括等を含む）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202305810030C9	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(水産) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	菅 向志郎 / Koushirou Suga		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	菅 向志郎 / Koushirou Suga		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	菅 向志郎 / Koushirou Suga		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sugakosi ▲nagasaki-u.ac.jp (▲を@に変更)		
担当教員研究室/Office	魚病学研究室(水産学部本館2階)		
担当教員TEL/Tel	2827		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A, F, G, I, J)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	授業は対面で実施
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ（教務委員長）
第5回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用（教務委員長）
第6回	クラス別課題学習
第7回	1～6班図書館資料収集ガイダンス（7～12班は第8回目に実施する）7～12班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第8回	7～12班図書館資料収集ガイダンス（1～6班は第7回目に実施する）1～6班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第10回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第11回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第12回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第13回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第14回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第15回	クラス別課題学習（最終発表会 反省と総括等を含む）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202305810030D1	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(水産) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹内 清治 / Takeuchi Seiji		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹内 清治 / Takeuchi Seiji		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹内 清治 / Takeuchi Seiji		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	stakeuchi ▲nagasaki-u.ac.jp (▲を@に変更)		
担当教員研究室/Office	海洋ベントス生態学研究室(水産学部本館2階)		
担当教員TEL/Tel	2856		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A, F, G, I, J)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	授業は、対面で実施
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ（教務委員長）
第5回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用（教務委員長）
第6回	クラス別課題学習
第7回	1～6班図書館資料収集ガイダンス（7～12班は第8回目に実施する）7～12班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第8回	7～12班図書館資料収集ガイダンス（1～6班は第7回目に実施する）1～6班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第10回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第11回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第12回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第13回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第14回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第15回	クラス別課題学習（最終発表会 反省と総括等を含む）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202305810030D2	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（水産） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山田 明德 / Akinori YAMADA		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	山田 明德 / Akinori YAMADA		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	山田 明德 / Akinori YAMADA		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ayamada▲nagasaki-u.ac.jp（▲を@に変更）		
担当教員研究室 / Office	微生物・遺伝子解析研究室（水産学部本館1階）		
担当教員TEL / Tel	2847		
担当教員オフィスアワー / Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標 / Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。（目標A, F, G, I, J）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法） / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。（2h） 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。（2h）		
キーワード / Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
受講要件（履修条件） / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	授業は対面で行います。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ（教務委員長）
第5回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用（教務委員長）
第6回	クラス別課題学習
第7回	1～6班図書館資料収集ガイダンス（7～12班は第8回目に実施する）7～12班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第8回	7～12班図書館資料収集ガイダンス（1～6班は第7回目に実施する）1～6班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第10回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第11回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第12回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第13回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第14回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第15回	クラス別課題学習（最終発表会 反省と総括等を含む）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202305810030D3	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(水産) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	八木 光晴 / Yagi Mitsuharu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	八木 光晴 / Yagi Mitsuharu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	八木 光晴 / Yagi Mitsuharu		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yagi-m▲nagasaki-u.ac.jp (▲を@に変更)		
担当教員研究室 / Office	水産・海事研究室(水産学部本館3階)		
担当教員TEL / Tel	2809		
担当教員オフィスアワー / Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標 / Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A, F, G, I, J)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード / Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。ただし、状況によっては変更する場合があります。その場合は、LACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	八木 光晴 / 大型漁業練習船での実務経験と海技免状取得経験 / 船舶の運用と水産漁業に関する基礎知識とその応用、および海技免状取得に向けた教育のために海技士資格を有する教員が指導する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ（教務委員長）
第5回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用（教務委員長）
第6回	クラス別課題学習
第7回	1～6班図書館資料収集ガイダンス（7～12班は第8回目に実施する）7～12班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第8回	7～12班図書館資料収集ガイダンス（1～6班は第7回目に実施する）1～6班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第10回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第11回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第12回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第13回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第14回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第15回	クラス別課題学習（最終発表会 反省と総括等を含む）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202305810030D4	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(水産) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	金 禧珍 / Hee-Jin KIM		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	金 禧珍 / Hee-Jin KIM		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	金 禧珍 / Hee-Jin KIM		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	heejin▲nagasaki-u.ac.jp (▲を@に変更)		
担当教員研究室 / Office	生物環境学研究室(水産学部本館1階)		
担当教員TEL / Tel	2829		
担当教員オフィスアワー / Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標 / Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A, F, G, I, J)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード / Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	授業は基本対面形式で実施します。初回到授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。 その場合は、LACSにて連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ（教務委員長）
第5回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用（教務委員長）
第6回	クラス別課題学習
第7回	1～6班図書館資料収集ガイダンス（7～12班は第8回目に実施する）7～12班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第8回	7～12班図書館資料収集ガイダンス（1～6班は第7回目に実施する）1～6班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第10回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第11回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第12回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第13回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第14回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第15回	クラス別課題学習（最終発表会 反省と総括等を含む）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202305810030D5	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(水産) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 健一 / Yamaguchi Kenichi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 健一 / Yamaguchi Kenichi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 健一 / Yamaguchi Kenichi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kenichi▲nagasaki-u.ac.jp (▲を@に変更)		
担当教員研究室 / Office	生物環境学研究室(水産学部本館1階)		
担当教員TEL / Tel	2829		
担当教員オフィスアワー / Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標 / Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A, F, G, I, J)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード / Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	海洋生物物理化学研究室にて対面式の授業を実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ（教務委員長）
第5回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用（教務委員長）
第6回	クラス別課題学習
第7回	1～6班図書館資料収集ガイダンス（7～12班は第8回目に実施する）7～12班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第8回	7～12班図書館資料収集ガイダンス（1～6班は第7回目に実施する）1～6班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第10回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第11回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第12回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第13回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第14回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第15回	クラス別課題学習（最終発表会 反省と総括等を含む）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202305810030D6	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(水産) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小山 喬 / KOYAMA Takashi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	小山 喬 / KOYAMA Takashi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	小山 喬 / KOYAMA Takashi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tkoyama▲nagasaki-u.ac.jp(▲を@に変更)		
担当教員研究室/Office	遺伝育種学研究室(水産学部本館2階)		
担当教員TEL/Tel	2832		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A, F, G, I, J)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加(30%)、プレゼンテーション(30%)、レポート(40%)により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	授業は全て対面で行う。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介（対面）
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎（対面）
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力（対面）
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ（教務委員長）
第5回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用（教務委員長）
第6回	クラス別課題学習（対面）
第7回	1～6班図書館資料収集ガイダンス（7～12班は第8回目に実施する）7～12班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備（対面）
第8回	7～12班図書館資料収集ガイダンス（1～6班は第7回目に実施する）1～6班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備（対面）
第9回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第10回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第11回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第12回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第13回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第14回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第15回	クラス別課題学習（最終発表会 反省と総括等を含む）（対面）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202305810030D7	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(水産) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	広瀬 美由紀 / Miyuki Hirose		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	広瀬 美由紀 / Miyuki Hirose		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	広瀬 美由紀 / Miyuki Hirose		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	m-hirose▲nagasaki-u.ac.jp (▲を@に変更)		
担当教員研究室 / Office	漁業技術研究室(水産学部本館1階)		
担当教員TEL / Tel	2817		
担当教員オフィスアワー / Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標 / Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A, F, G, I, J)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード / Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	授業は、原則対面で行う。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	広瀬美由紀/水産研究・教育機構 日本海区水産研究所、西海区水産研究所および韓国全南大学校での実務経験/国内外の研究所や大学で行ってきた研究・授業および学会発表の経験を活かし、実験計画の立て方、発表の仕方について指導する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ(教務委員長)
第5回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用(教務委員長)
第6回	クラス別課題学習
第7回	1～6班図書館資料収集ガイダンス(7～12班は第8回目に実施する)7～12班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第8回	7～12班図書館資料収集ガイダンス(1～6班は第7回目に実施する)1～6班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)
第15回	クラス別課題学習(最終発表会 反省と総括等を含む)

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202305810030D8	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(水産) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	平坂 勝也 / Hirasaka Katsuya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	平坂 勝也 / Hirasaka Katsuya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	平坂 勝也 / Hirasaka Katsuya		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hirasaka▲nagasaki-u.ac.jp (▲を@に変更)		
担当教員研究室/Office	食品栄養学研究室(水産学部新館4階)		
担当教員TEL/Tel	2839		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A, F, G, I, J)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	授業は対面で行います。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ（教務委員長）
第5回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用（教務委員長）
第6回	クラス別課題学習
第7回	1～6班図書館資料収集ガイダンス（7～12班は第8回目に実施する）7～12班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第8回	7～12班図書館資料収集ガイダンス（1～6班は第7回目に実施する）1～6班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第10回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第11回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第12回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第13回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第14回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第15回	クラス別課題学習（最終発表会 反省と総括等を含む）